

政治・宗教思想研究会／関西神学塾

連続講座の案内

人類と福祉を考える

20日(金) 「聖書以前の事例から」

21日(土) 「聖書と人間論的背景」

講 師：月本 昭男 先生

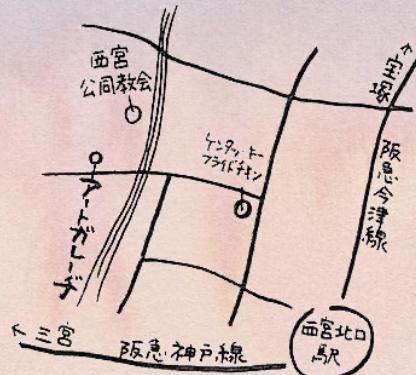
日 時：2026年3月20日(金、祝)、21日(土)

両日 午後6時～8時

場 所：西宮公同教会 集会室

〒662-0834 西宮市南昭和町10-22
0798-67-4691
阪急西宮北口駅より 徒歩3分

参加費：両日 各500円



月本昭男

1948年、長野県生まれ。新島学園中学・高等学校、東京大学、同大大学院、ドイツ・チューリンゲン大学で学ぶ。1981年より立教大学勤務、2014年3月、同大学キリスト教学科教授退任。同大学名誉教授。2014年4月～2022年3月、上智大学特任教授。同大学名誉教授。古代オリエント博物館前館長。経堂聖書会所属。

著書に『目で見る聖書の時代』(日本キリスト教団出版局)、『詩篇の思想と信仰』I～VI(新教出版社)、『古代メソポタミアの神話と儀礼』(岩波書店)、『旧約聖書を見るユーモアとアイロニー』(教文館)、『この世界の成り立ちについて—太古の文書を読む』(ぶねうま舎)、『見えない神を信ずる』(日本キリスト教団出版局)、『物語としての旧約聖書』(NHK出版局)、『増補 古典としての旧約聖書』(ちくま学芸文庫)など。原典翻訳に『ギルガメッシュ叙事詩』、『創世記』、『エゼキエル書』(以上、岩波書店)、『死海文書』I巻、III巻(共訳、ぶねうま舎)、『エヌマ・エリシュ』(ぶねうま舎)など。編著に『創成神話の研究』(リトン)、『メソポタミア文明の光芒』(山川出版社)、『宗教の誕生—宗教の起源・古代の宗教』(山川出版社)など。

ロシアによるウクライナ侵攻から4年ウクライナでの戦いは止まず、ガザでも7万人をこえる人命が犠牲になった。多くの人々が平和を願った21世紀もまた戦争の世紀になるのであろうか。しかし、その一方で、人類は苦しむ同胞に手を差し伸べる社会を営んできたことも事実である。神さまは人類に争いの種と同胞に手を差し伸べる社会を示している。

(月本昭男)

主催：関西神学塾

協力：障害児・者情報センター

問合せ：西宮公同教会

西宮市南昭和町 10-22

TEL：0798-67-4691

MAIL：koudou@gamma.ocn.ne.jp